

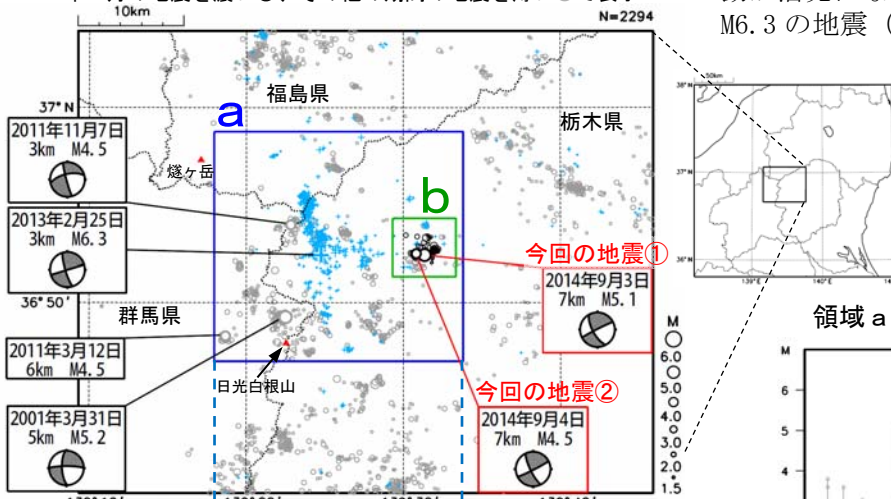
9月3日、4日 栃木県北部の地震

2014年9月3日16時24分に栃木県北部の深さ7kmでM5.1の地震（最大震度5弱、今回の地震①）が発生した。この地震は地殻内で発生した。震度1以上を観測した余震は21回発生している（最大震度別の回数は、震度4：1回、震度3：2回、震度2：4回、震度1：14回、6日現在）。そのうち最大規模の余震は、4日05時34分に発生したM4.5の地震（最大震度4、今回の地震②）である。余震活動は次第に低下してきている。今回の地震①及び②の発震機構はともに、西北西－東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

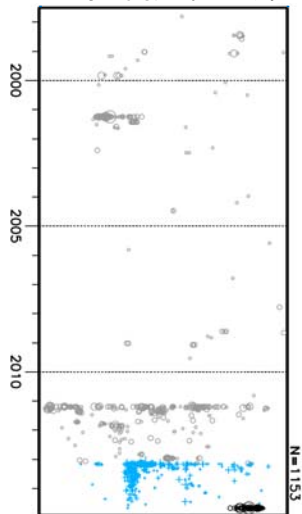
震央分布図

(1997年10月1日～2014年9月6日、
深さ0～20km、 $M \geq 1.5$)

2013年2月25日（M6.3の地震発生）から2014年8月までの地震を+、
2014年9月の地震を濃い○、その他の期間の地震を薄い○で表示

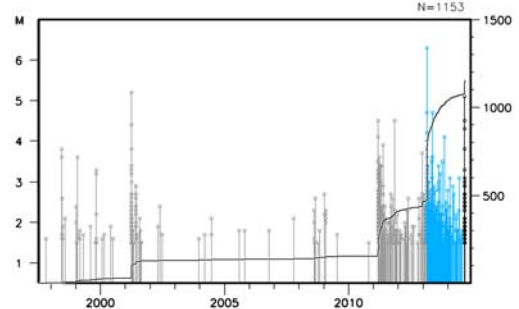


領域a内の時空間分布図（東西投影）

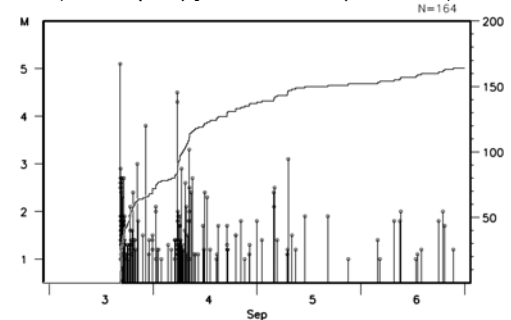


1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）では、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」発生以降、地震活動が活発になっている。2013年2月25日にはM6.3の地震（最大震度5強）が発生している。

領域a内のM-T図及び回数積算図

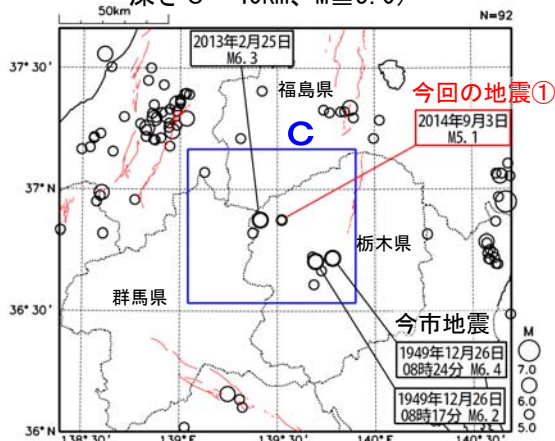


領域b内のM-T図及び回数積算図 (2014年9月3日～6日、 $M \geq 1.0$)



震央分布図

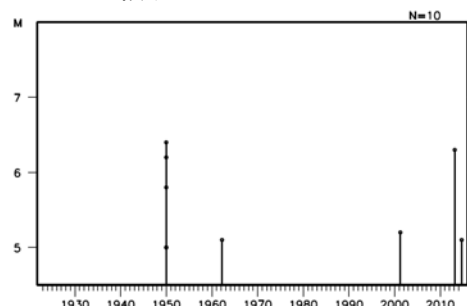
(1923年1月1日～2014年9月6日、
深さ0～40km、 $M \geq 5.0$)



図中の細線は、地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、1949年12月26日に今市地震（M6.2、M6.4）が発生しており、死者10人、負傷者163人、住家全壊290棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

領域c内のM-T図

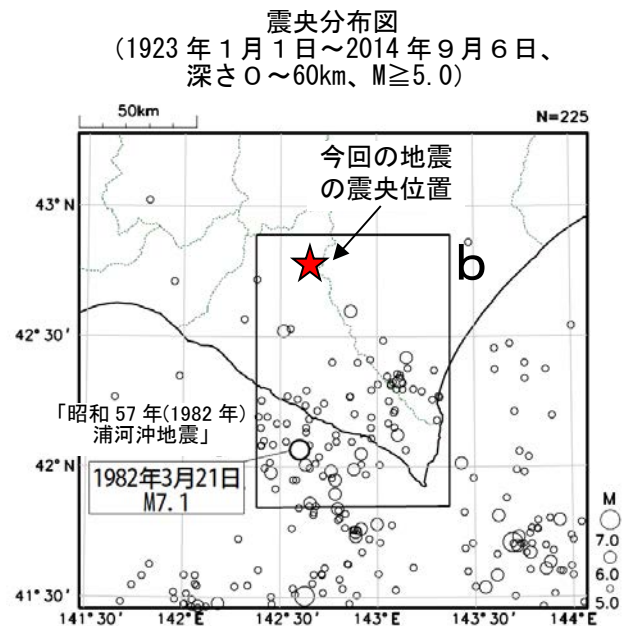
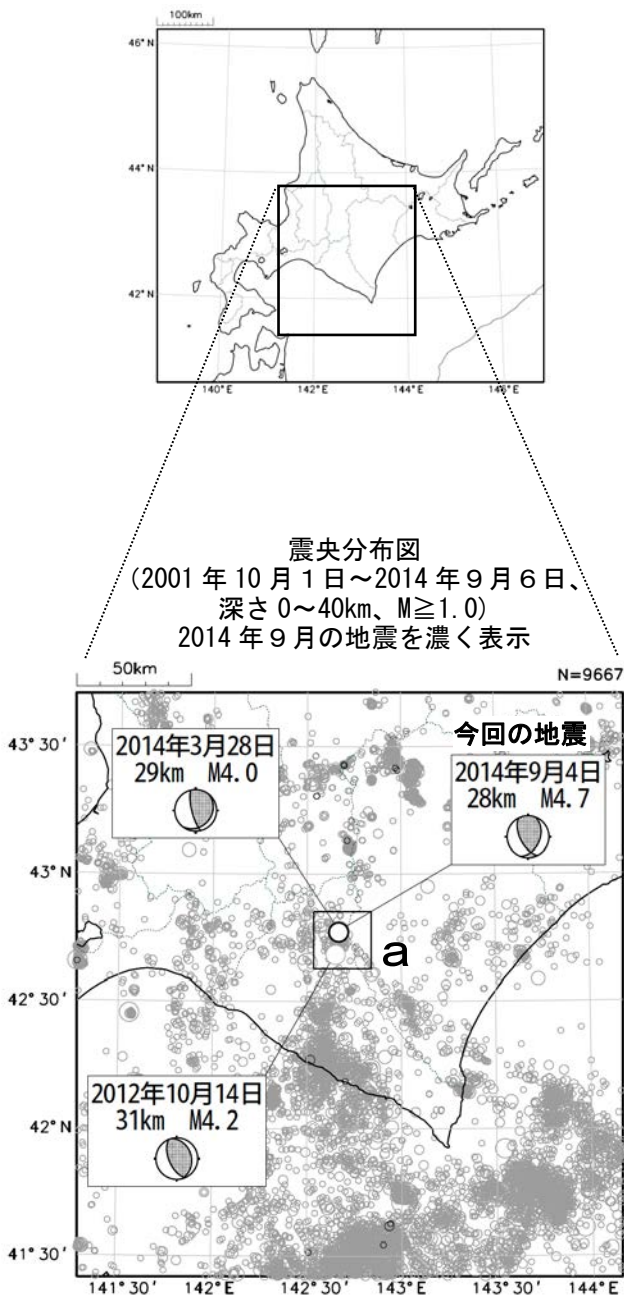


9月4日 日高地方西部の地震

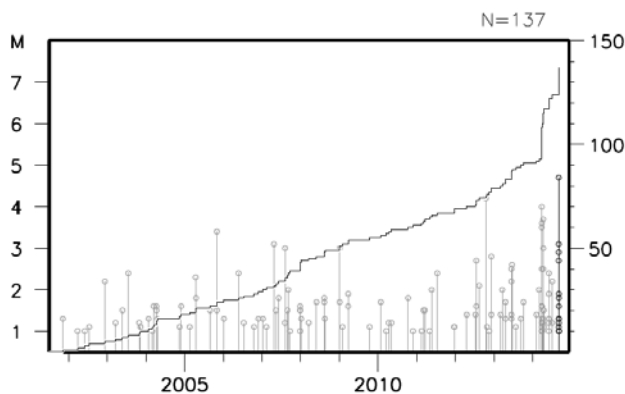
2014年9月4日07時49分に日高地方西部の深さ28kmでM4.7の地震（最大震度3）が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

2001年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）では、2012年10月14日にM4.2の地震（最大震度2）が発生している。また、2014年3月28日にM4.0の地震（最大震度2）が発生し、その後この付近の地震活動がやや活発となっている。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、「昭和57年（1982年）浦河沖地震」（M7.1、最大震度6）が発生し、重軽傷者167人、住家全半壊41棟などの被害を生じた（「昭和57・58年災害記録（北海道、1984）」による）ほか、浦河では78cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測した。



領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図

